

組織名称				萩つくる会			
組織の所在地	〒758-0031 萩市川島 338 番地 堀設計事務所内						
	TEL 0838-25-1547	FAX 0838-25-2542	MAIL horiarich@lime.ocn.ne.jp	HP	-		
組織の構成	設計、施工、行政						
						員数 30	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統工法に関する研修 ・ 萩の伝統的な建物の普及・啓発活動 						
活動の目標と試み	・ 萩の伝統的な工法の継承			萩の伝統工法の研修と仕様書作成			
	・ 萩らしい住まいの研究			セミナーの実施			
対象地域	萩市内（現在は主に城下町地域）						
対象建物	萩市内の伝統的な木造軸組み建築（主に昭和中期頃まで）				対象件数 約 1600 軒		
建物の特徴 (町家の場合)	外観	屋根	主屋根：切妻造り（ただし、角地では入母屋造りとすることもある） 燻し棧瓦葺き、軒：鎌型瓦、棟：青海波積み又は平熨斗積み 下屋：主屋根と同様				
		壁	真壁造りが基本、白漆喰仕上げ、二階は化粧貫をみせる				
		開口部	一階：蔭戸、大戸、格子戸、硝子戸 二階：出格子、平格子、虫籠窓、雨戸+障子戸+手摺り				
		その他	二階軒裏は垂木露しとし、出桁を出し軒天井を張る 一階軒桁は間口いっぱいに見え梁を架け渡す 木部はベンガラ塗りを基本とする				
	内観	下手を通り土間とし、上手に部屋を一行（ミセ、ナカノマ、ザシキ）又は二列に並べる ミセ及びナカノマは根太天井とし、ザシキは竿縁天井に面皮付き半割又は太鼓落としの 長押とする					
	構造	軸部：側柱筋は竿石に土台を並べ、半間おきに柱を建て、その他は東石建てとする ミセと土間の境に大黒柱を建て、ミセからナカノマにかけては胴差しで固める 小屋：野物の梁に束立てし、梁を重ねる和小屋形式とする					
	その他	上記を基本としながらも、時代によって多様な形式がある					
保全・再生方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物群保存地区内の町家の外観及びこれと密接な関係にある構造体については、文化財建造物として下記の方針をもとに適切な改修を行う。 ・ 外観については、痕跡等から建物が最も輝いていた時代の形式に復原する ・ 健全な部材は、根継ぎや矧ぎ木等の適切な補修を行い再利用する ・ 建物に用いられている工法、収まり等を調べた上、同様の形式を用いる ・ 改修の現場をひろく住民や市民に公開する場を設ける ・ 伝統的建造物の改修で得られた技術、知見を他の物件の設計・施工にいかしていく 						
協力する団体	NPO 法人まちのよそおいネットワーク、萩左官組合、浜崎しっちよる会、(社) 山口県建築士会萩支部、(社) 日本建築家協会 山口地域会						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統工法に関する情報の共有化 ・ 対象物件の拡大 ・ 一般市民への普及啓発 						
活動資金	会費						
その他	浜崎地区においては、伝統的建造物は 138 件のうち、平成 14 年からこれまで約 24 件程度の保存修理を実施						